

2. 就職活動の現状と基礎知識

よくでる就活用語
IS→インターンシップ
ES→エントリーシート



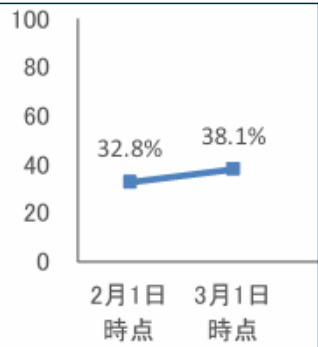
2026年度就活の現状(内定の状況)



		2月1日 時点	3月1日 時点	3月18日 時点	4月1日 時点	5月1日 時点	5月15日 時点	6月1日 時点	7月1日 時点	8月1日 時点	9月1日 時点	10月1日 時点	12月1日 時点	3月卒業 時点
全体	2026年卒	39.3%	48.4%	58.7%	61.6%	75.8%	79.9%	81.6%	86.7%	90.9%	94.8%	93.9%	94.8%	
	2025年卒	23.9%	40.3%	49.8%	58.1%	72.4%	78.1%	82.4%	88.0%	91.2%	94.2%	95.9%	96.6%	98.8%
	2024年卒	19.9%	30.3%	38.9%	48.4%	65.1%	72.1%	79.6%	83.2%	86.6%	91.5%	92.0%	95.1%	96.8%
	前回差		9.1	10.3	2.9	14.2	4.1	1.7	5.1	4.2	3.9	-0.9	0.9	
	前年同月差	15.4	8.1	8.9	3.5	3.4	1.8	-0.8	-1.3	-0.3	0.6	-2.0	-1.8	
文系	2026年卒	37.1%	46.2%	54.8%	59.6%	74.4%	78.1%	80.5%	85.5%	90.1%	94.2%	93.6%	94.6%	
	2025年卒	24.6%	36.8%	46.6%	54.6%	69.7%	75.5%	81.2%	86.9%	89.9%	93.8%	95.2%	97.3%	98.7%
	2024年卒	19.7%	28.2%	35.4%	46.5%	63.8%	70.6%	78.3%	81.5%	85.0%	90.9%	91.2%	94.0%	96.1%
	前回差		9.1	8.6	4.8	14.8	3.7	2.4	5.0	4.6	4.1	-0.6	1.0	
	前年同月差	12.5	9.4	8.2	5.0	4.7	2.6	-0.7	-1.4	0.2	0.4	-1.6	-2.7	
理系	2026年卒	44.3%	53.5%	67.6%	65.9%	78.8%	84.0%	84.0%	89.5%	92.9%	96.0%	94.6%	95.2%	
	2025年卒	22.5%	47.8%	56.7%	65.8%	78.3%	83.8%	85.0%	90.6%	94.3%	95.1%	97.7%	95.0%	99.1%
	2024年卒	20.3%	35.3%	47.3%	52.9%	68.3%	75.6%	82.6%	87.4%	90.3%	92.9%	94.1%	98.1%	98.8%
	前回差		9.2	14.1	-1.7	12.9	5.2	0.0	5.5	3.4	3.1	-1.4	0.6	
	前年同月差	21.8	5.7	10.9	0.1	0.5	0.2	-1.0	-1.1	-1.4	0.9	-3.1	0.2	

リクナビ
就職プロ
セス調査

2026年3月卒業時点の大学生の就職内定率は98.7%と前年と同水準



2027年卒の3月1日時点の内定率は38.1%（前年比-10p）ですが、マイナビ調査では3月1日時点の内定率は46%（前年比+2.9P）活動継続率は両社データとも85%程度となっており、ほとんどの学生が早期選考が進む中でも、自身の進路決定に向けて動いています。

3(短1)年生:2028卒
4(短2)年生:2027卒
新社会人:2026卒

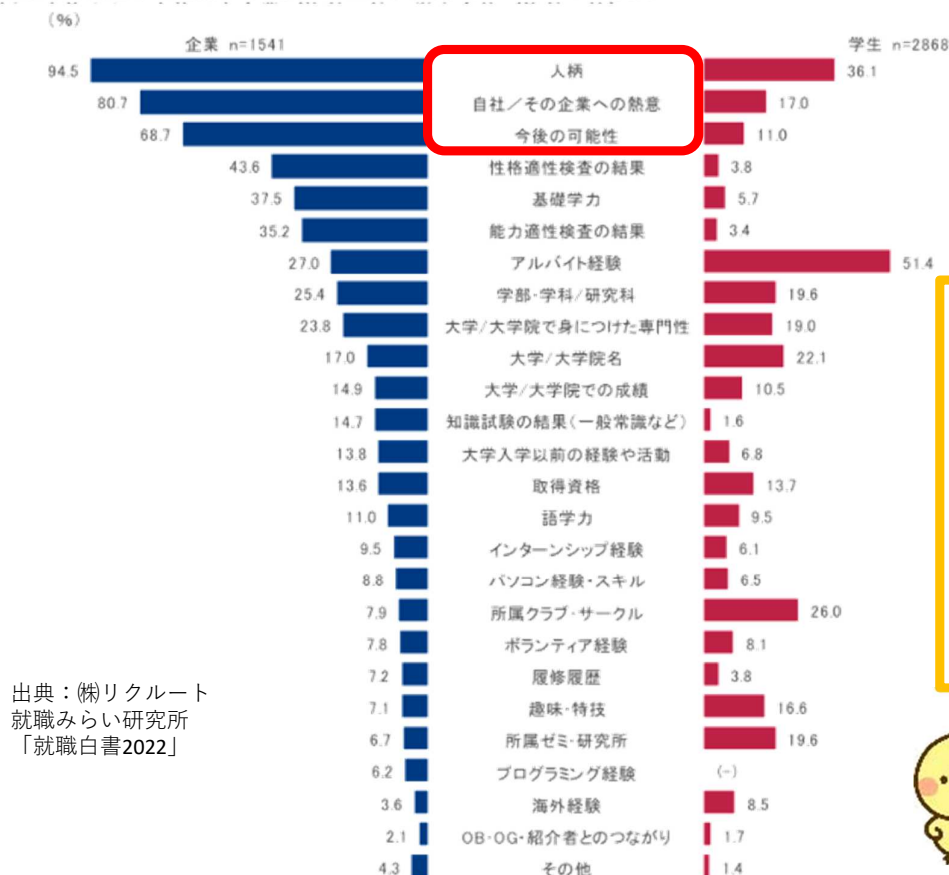
平均2.5社から内定を得ています。1/3の学生は1社内定が出たところで決めています。

	1社	2社	3社	4社	5社	6社以上	2社以上・計	平均(社)
2026年卒	35.4%	27.1%	15.0%	10.3%	6.1%	6.1%	64.6%	2.57
2025年卒	36.3%	24.7%	17.5%	9.3%	5.0%	7.2%	63.7%	2.64
2024年卒	36.1%	24.4%	16.1%	11.2%	7.5%	4.7%	63.9%	2.49

企業が採用活動で重視するポイントは



企業が採用基準で重視する項目／学生が面接等でアピールする項目



企業が採用にあたり重視するポイントは

- ・ 学生自身の人間力
- ・ 自社への志望意欲
- ・ 活躍・成長の可能性

です。

これらが、採用活動（就活）の早期化により、早い段階からみられるということになります。



3

大学生の就職活動スケジュール



一般的な「就職活動」は3月以前が重要



3月から就活をはじめたのでは、間に合わない。

「間に合わない」とは、不本意就活、不本意就職となる可能性が高いということです。（早期の離転職につながる可能性も）

3月以降は短期間にやるのがいっぱい！

- ・ 企業へのエントリー
- ・ 企業説明会
- ・ 合同企業説明会
- ・ 学内企業説明会
- ・ エントリーシート作成
- ・ エントリー企業の研究 等々

4

大学生の一般的な就活・内定までの流れ



①インターンシップ

②ナビサイト登録

③合同企業説明会／学内企業説明会

リクナビ・マイナビ・キャリアス等の三大就活ナビ

→フレントリー → 企業説明会参加→

→応募(エントリー) エントリーシート(履歴書)作成・提出→
→書類選考→

→筆記試験(適性検査・論作文等)→
→面接(グループディスカッション・個人面接・グループ面接)→
→最終面接→

オンライン・リアル

→内々定・内定



5

専門職・就活サイト以外の就活の流れ



①実習・インターンシップ

②新卒応援ハローワーク

③紹介

④学校求人

⑤合同企業説明会

→履歴書等応募書類作成・提出→書類選考→

→筆記試験(適性検査・作文等)→面接(個人面接・グループ面接)

→内々定・内定



6

公務員試験のスケジュール(例)



12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
各種説明会・セミナーなど				■国家総合職 一次試験	二次試験	合格発表			随時：準公務員や団体系の試験(採用人数が少ない)	
						■国家一般職 一次試験	二次試験	合格発表		
				■地方公務員(上級) ●都道府県・政令指定都市：受付開始⇒一次試験 ●市町村：受付開始		●都道府県・政令指定都市：二次試験⇒合格発表 ●市町村：一次試験				
						■地方公務員(初級) ●都道府県・政令指定都市：一・二次試験⇒合格発表 ●市町村：一・二次試験⇒合格発表				
				A日程一次試験(筆記試験)：例年 6 月 C日程一次試験(筆記試験)：例年 9 月			B日程一次試験(筆記試験)：例年 7 月 D日程一次試験(筆記試験)：例年 10 月			

【試験内容は？】自治体によって違うので試験要領を確認してください

筆記試験：教養試験・専門試験・論文試験・適性試験など

※専門試験とは・・・

行政事務系区分	憲法、民法、行政法、ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学、経営学、会計学、統計学、政治学、行政学、社会学、国際関係論、労働法、刑法、商法
人間科学系区分	心理学、社会学、社会福祉、教育学、社会調査
技術系区分	土木、建築、機械、電気等各専門分野別の専門科目

試験日程前倒し傾向
SPI（総合適性検査）を
導入する行政も増えている

公務員試験は民間
就活と並行を。

7

応募書類の種類(例)



◆A社 エントリーシート

◆B社 エントリーシート + 履歴書

◆C社 履歴書

企業によって必要な書類が違うので
必ず確認をしましょう！

エントリーシートには手書き、WEB式がある
提出方法はWEB送信、メール添付、郵送、説明会持参等

エントリーシートとは

学生が企業に応募する際に提出する応募書類。選考前に提出を行うため、企業が最初に学生を見極めるための書類となります。面接の参考資料として使用されることが多いですが、選考の一環としてESの内容で合否がだされることもあります。企業で独自に作成されるため、各社ごとにフォーマットや質問内容は異なりますが、主に企業への志望動機や自己PRなどが聞かれます。

8

インターンシップ&オープンカンパニー (キャリア形成支援プログラム)



■ オープンカンパニー ■ Oday仕事体験 ■ インターンシップ ■ キャリア教育プログラム	類型	代表的なケース	実施規模	学生の参加期間	学生の主たる目的	採用活動	実施率
	タイプ1	企業・就職情報会社主催イベント 学内イベント	大人数	超短期(短日)	企業・業界・仕事を具体的に知る	×	87.8%
	タイプ2	企業主催プログラム(CSRとして) ・授業(正課) ・産学協働プログラム(正課外) ・学内における企業・アドバイザーによるレクチャー	プログラムによる 授業・プログラムによる	短期(1~3日間) 短期~長期(授業・プログラムによって異なる)	自らのキャリア(職業観・就業観)を考える	×	26.7%
	タイプ3	適性・汎用的能力重視 汎用的能力・専門活用型インターンシップ 専門性重視(主に事務系) 専門性重視(主に技術系)	少人数中心	短期(5日間以上) 長期(2週間以上)	その仕事に就く能力が自らに備わっているか見極める	○	31.6%
	タイプ4	ジョブ型研究インターンシップ 高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ(仮称)	少人数	長期(2ヵ月以上) 検討中	自らの専門性を実践で活かし、向上させる(実践研究力の向上等)	○	2.6%

※実施率データ出典◎株) リクルート「就職白書2025」より

9

就職活動のトレンド



早期化&長期化

企業の「早期選考」「選考につながるインターンシップ」により、採用活動(就職活動)の時期は早まり、結果的に就活期間が長くなっている。

オヤカク

保護者に対して「内定確認の連絡」をする企業が半数に及ぶ

AI就活

面接や選考にAIを活用する企業が出ている。また学生もエントリーシートの作成や面接対策などに生成AIを活用するケースが増えている。

エーエージェント

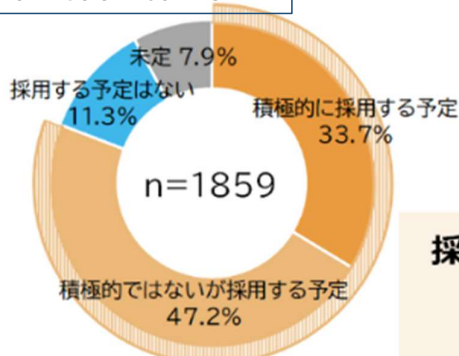
人材紹介会社への登録は囲い込みに注意
一部の人材会社による「オワハラ」(内定承諾の強要)にも注意

第二新卒について

第二新卒とは

明確な基準はありませんが、一般的に学校を卒業後、一度就職をしたが数年の内に転職活動をする若手求職者を指します。概ね卒業後約3年以内とすることが一般的です。

第二新卒の採用予定



第二新卒をターゲットとした採用の今後の方針
マイナビ企業人材ニーズ調査2024年版

近年は若年者の転職希望、早期の離職者が増えています。企業の第2新卒者に対するニーズは高いものの、「経験」「適応力」「意欲」を第2新卒のメリットと捉えています。安易で早期の離職につながるよう、就職活動の段階におけるマッチングが重要です。

近年の若年者の傾向

■転職希望者が増えている

厚生労働省「令和5年若年者雇用実態調査」では、15～34歳の若年正社員のうち「転職したい」と答えた人は31.2%。初めて30%を超え、転職を希望していない人の割合を上回った。

■離職率が上がっている

厚生労働省が2024年10月に発表した「新規学卒就職者の離職状況に関する調査」によると、就職後3年以内の離職率は、新規高卒就職者が38.4%（前年度比1.4pt増）、新規大学卒就職者が34.9%（前年度比2.6pt増）。新規大学卒就業者はここ15年間で最も高くなった。

企業の第二新卒への良いイメージ

1.経験

他社での経験やノウハウを活かしてくれる

2.即戦力&適応力

即戦力として職場に適応し、長く活躍してくれるイメージ

3.若さ

年齢的に若く、成長する能力を秘めている

4.やる気・意欲

やる気をもって入社してくれると思う

企業の第二新卒への悪いイメージ

1すぐ辞めそう

短期で退職されるのは困る、忍耐力が無さそう

2経験

前職のことが経験となっていなさそう

3理由

どんな理由でやめたかによるが、やめ癖がついていそう

